

高周波リアクトル (可変式)

◆概要

- ・インダクタンス値を簡単に変えたい、調整したいとの開発研究用途でのニーズにこたえた、インダクタンス値の調整が可能なリアクトルです。
- ・当社の標準品「TSL2 シリーズ」の高周波リアクトルをベースとしております。

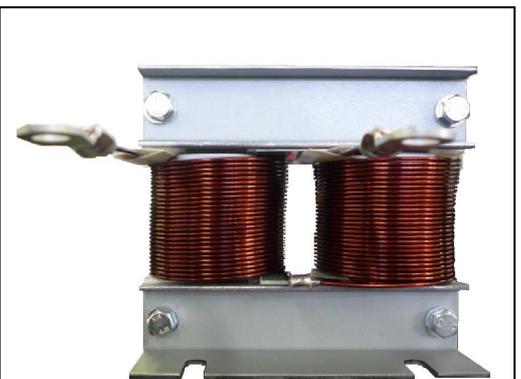
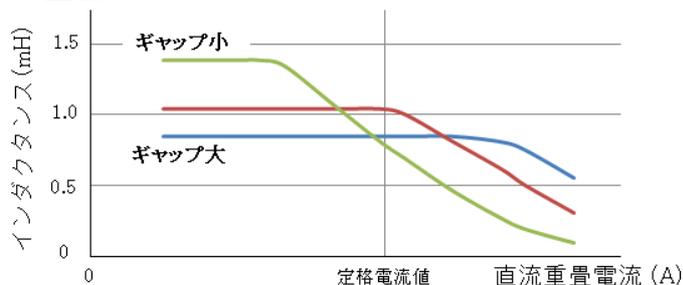
◆特長・用途

- ・太陽光パワーコンディショナーやUPSなどのインバータ、及びコンバータの開発現場、負荷用途、パワーモジュールなどの開発用途用にて、インダクタンス値の選定を行うのに使用できます。
- ・リアクトルに組込まれているギャップ材を変更（ギャップ長の変更）をお客様にて行うことにより、インダクタンス値の調整をする事が出来ます。
 - *ギャップ長を大きくするとインダクタンス値が減少し、逆に小さくするとインダクタンス値が増加します。ただし、ギャップ長を変えることで直流重畳特性(下記参考図)が変わりますのでご注意ください。ギャップを小さくした場合、インダクタンス値が減り始める直流電流値が小さくなります。
- ・ギャップ材はガラエポ、ノーメックスなどの絶縁材料を使用していますが、納入時には各種調整ができるように、厚みの違う絶縁材料を用意いたします。
- ・高周波に対応した鉄心材料を使用しております。
- ・各種仕様、用途に合わせてのカスタマイズ的设计・製作も可能です

◆仕様 外観

インダクタンス値	1mH
可変可能範囲	300 μ H ~ 2mH
定格電流値	28A
耐熱クラス	F 種
周波数	15kHz
外形寸法	W125 x D83 x H125 mm
質量	4kg
販売価格(税抜)	20,000 円 (送料別途)
付属品	ギャップ材 3種各2枚

直流重畳特性例



*ワニス処理を施さず納入いたします。ワニス処理が無い為、防塵、防錆に対応しておりません。また騒音が発生しやすく、振動で被膜が剥がれやすい点などございます。オプションで追加ワニス処理(税抜販売価格 7,600 円)を承ります。

LSC 東京精電株式会社

東京営業所 〒168-0081 東京都杉並区宮前4丁目28番21号

長野営業所 〒386-0155 長野県上田市蒼久保1216番地

名古屋営業所 〒462-0841 名古屋市中区黒川本通4丁目36番地 黒川旗ビル8F

※本カタログの内容は2013年12月現在のもので、※カタログ記載の内容はお断り無く変更することがあります。

URL : <http://www.tokyo-seiden.co.jp>

TEL. 03-3332-6666

FAX. 03-3332-6672

TEL. 0268-35-0555

FAX. 0268-35-2895

TEL. 052-991-9351

FAX. 052-991-9350